

第3節 関連文化財群と歴史文化保存活用区域

1 関連文化財群と歴史文化保存活用区域の構成・関係

津和野町の「歴史文化」及び「歴史文化遺産」の特徴などを踏まえ、以下のとおり関連文化財群と歴史文化保存活用区域を設定した。

関連文化財群

地域の歴史や文化を語る重要な資産として総合的に保存・活用していくために、有形・無形の文化財を歴史的・地域的文脈のもとに「相互に関連性のある一定のまとまり」として捉えた文化財群。

様々なテーマ・ストーリーのもとに、関連する複数の文化財をつないで生かす方策であり、教育文化、観光振興など多様な活用が想定できる。

歴史文化保存活用区域

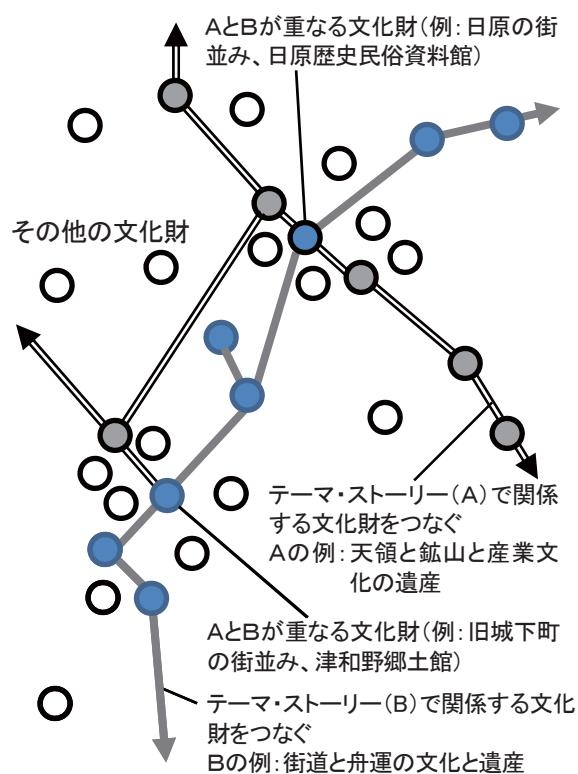
不動産である文化財や有形の文化財だけではなく、無形の文化財も含めて文化財が特定地域に集中している場合に、文化財と一体となって価値を形成する周辺環境も含め、当該文化財（群）を核として文化的な空間を創出するための計画対象地として定めることが望ましい区域。

この区域の中には、関連文化財群の構成文化財を含むことになる。

＜歴史文化保存活用区域の構成文化財＞

関連文化財群の構成文化財+その他の文化財

【関連文化財群のイメージ】



【歴史文化保存活用区域のイメージ】

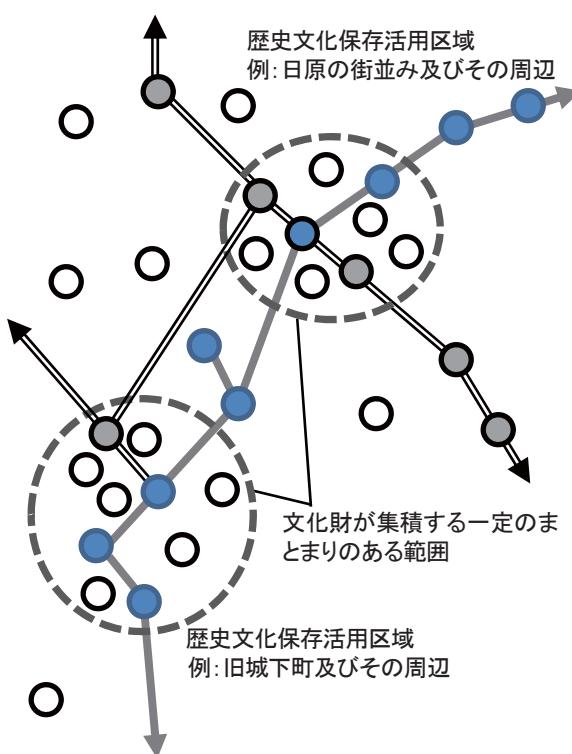


図 2-5 津和野町における関連文化財群と歴史文化保存活用区域の構成（イメージと関係性）

2 関連文化財群

津和野町の「歴史文化」及び「歴史文化遺産」の特徴に関わる「野・山・街」を3つのキーワードとして、10のテーマ・ストーリーのもとに関連文化財群を設定した。

これらのうち城下町に関する関連文化財群「8 城下町の史跡と文化」には8-1～8-5の5つのサブの関連文化財群を設定しており、それらの内容（概要）は以下のとおりである。

また、日本遺産もひとつのストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用するものであり、関連文化財群の捉え方と重なり合う。津和野町では、「津和野今昔～百景図を歩く～」と「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」がそれぞれ日本遺産として認定されている。

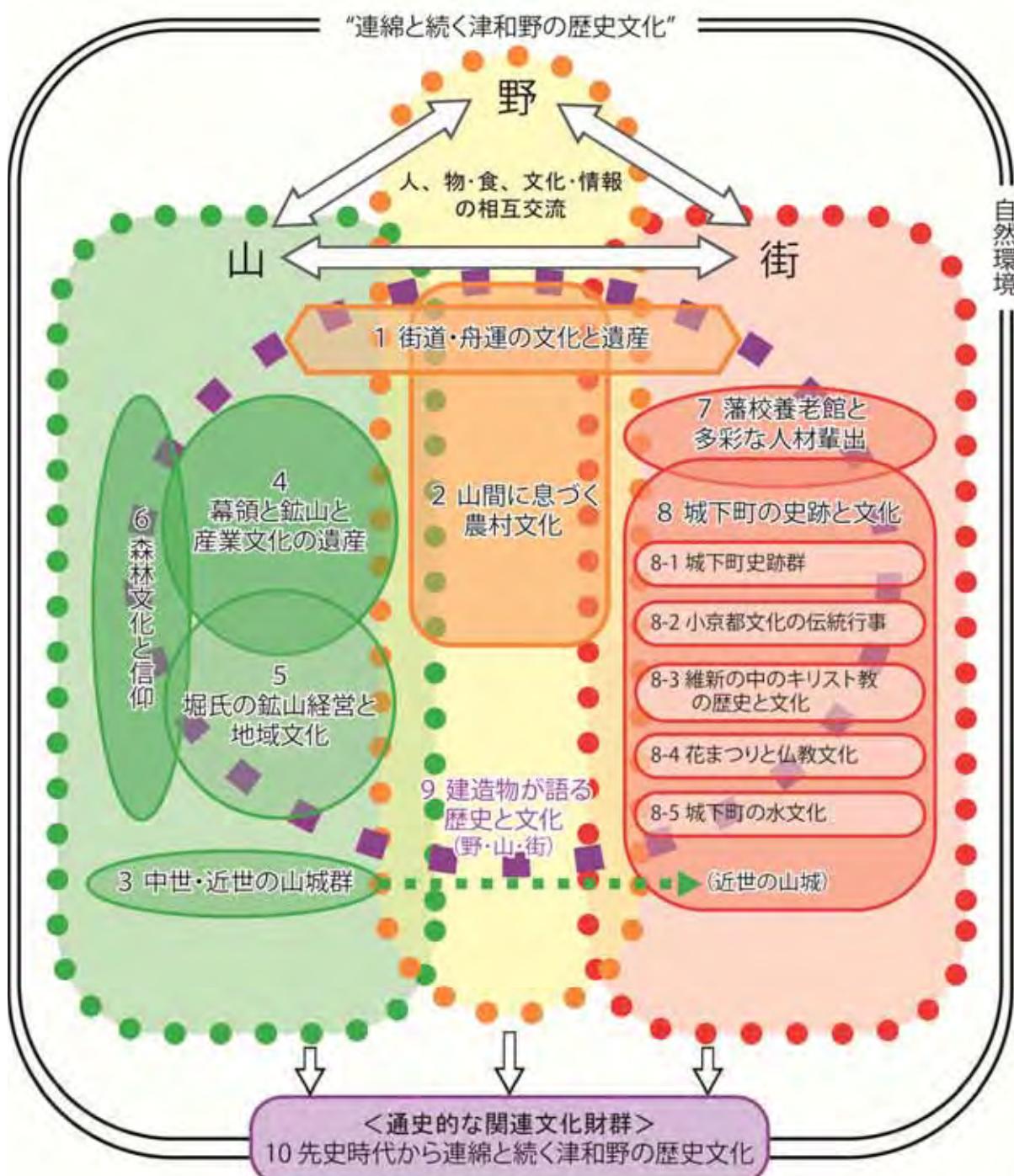


図 2-6 津和野町の関連文化財群のテーマと構成

表 2-5 関連文化財群の設定（表中の番号は前頁の図 2-6 の番号と同じ）

(1 / 4)

関連性の視点 (切り口) ～設定の考え方～	関連文化財群（概要）		主な歴史文化遺産 ★：核となるもの【指定・登録】 ☆：調査で価値を明らかにするもの
	テーマ	ストーリー（要点）	
（主として） 野	1 街道・舟運の文化と 遺産	山陰道をはじめとした 街道、高津川の舟運、 陸と川の道の結節、及 びそれらとつながる産 業や暮らしの文化を再 認識し、守り、生かす べき関連文化財群であ る。	★山陰道 野坂峠越・徳城峠越【国史 跡】 ☆津和野・廿日市街道（参勤交代道） ☆津和野奥筋往還（津和野藩飛地と をつなぐ） ・津和野藩番所跡 ・塩街道（笹ヶ谷～江崎） ・銅山・馬車街道（〃） ・渡し跡 ☆山口線（SL転車場、石炭練習場、 橋脚、トンネル）など
	2 山間に息づく農村文 化	津和野は城下町、天領 (2箇所) を除くとそ の多くが農村であり、 相互に関連する伝統文 化や、信仰の対象とな る文化財について一体 として保存・活用する べき関連文化財群であ る。	★柳神楽の面と衣装【県有形民俗文 化財】 ★柳神楽【県無形民俗文化財】【国認 定日本遺産】 ★石見神楽【国認定日本遺産】(4か 所) ☆田植え囃子（3か所） ・三靈堂（和紙生産に関する物語と 祠：4か所） ・河内神社など各種神社と地鎮申し (多数) ★三渡八幡宮社叢他【町天然記念物】 ・荒神森と墓、供養塔（多数） ★竹原家住宅【町有形文化財】 ☆地芝居 ・農村食文化（まんさく、さば、芋煮、 しるこ）など
（主として） 山	3 中世・近世の山城群	全国的にも数少ない近 世山城（津和野城跡） や地域に広がる数多く の中世山城に光を当 て、城からみた歴史文 化と津和野の特性を見 いだし、保存・活用す るべき関連文化財群で ある。	<近世> ★津和野城跡【国史跡】 <中世> ★津和野城跡【国史跡】 ★下瀬山城跡【町史跡】 ☆御嶽山城 ☆陶晴賢本陣跡 ・茶臼山城跡 ・中木屋城跡 など
	4 天領と鉱山と産業文 化遺産	津和野の経済的基盤と 産業文化を生み出した 数多くの鉱山、たたら 場を再認識し、守り、 生かすべき関連文化財 群である。	<銅山> ☆笹ヶ谷鉱山跡（坑道、製錬所跡、堀 氏文書ほか関連資料） ・十王堂銅山跡 ☆日原銅山跡 ・成日照銅山跡 <たたら場> ★瀧谷たたら跡【町史跡】 ・上ヶ原たたら跡 ・どるぶちたたら跡 ・横道たたら跡 <関連文化財> ・製鉄関連資料 ・原田家墓所 ・銅山馬車街道 など



山陰道 野坂峠越（国史跡）



津和野城跡（国史跡）



下瀬山城跡（町史跡）

表 2-5 関連文化財群の設定

(2/4)

関連性の視点 (切り口) ～設定の考え方～	関連文化財群（概要）		主な歴史文化遺産 ★：核となるもの【指定・登録】 ☆：調査で価値を明らかにするもの
	テーマ	ストーリー（要点）	
（主として山）	・堀氏に関わるテーマ等の検討 ※歴史文化保存活用区域と連携	5 堀氏の鉱山経営と地域文化	近代まで引き継がれていた鉱山経営と産業文化、そして地域との関わりを再認識し、守り、生かすべき関連文化財群である。
	・森林文化と信仰に関わるテーマ等の検討	6 森林文化と信仰	豊かな森や山々の自然環境を次代に引き継ぐとともに、そこでの暮らしの文化（足跡）や信仰を保存・活用するべき関連文化財群である。
（主として街）	・教育・人材育成、思想の面からのテーマ等の検討 ・人物によるテーマ等の検討	7 藩校養老館と多彩な人材輩出	現在も残る藩校養老館と、ここで学び近代日本の礎となった多くの人材やその関連する文化財について再認識し、保存・活用するべき関連文化財群である。



旧堀氏庭園（国名勝）



旧堀氏庭園 旧畠迫病院（国名勝）



青野山（国天然記念物及び名勝）



津和野藩校養老館（県史跡）



西周旧居（国史跡）



森鷗外旧宅（国史跡）

表 2-5 関連文化財群の設定

(3／4)

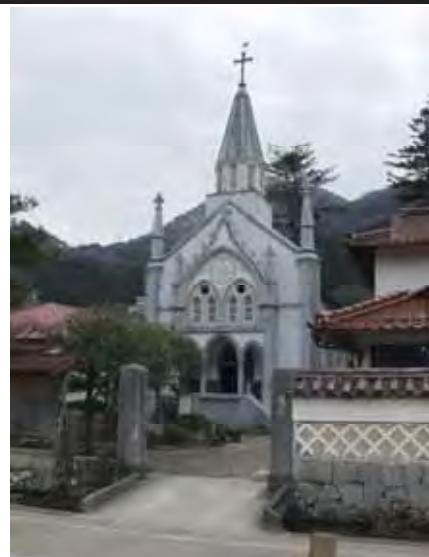
関連性の視点 (切り口) ～設定の考え方～	関連文化財群（概要）		主な歴史文化遺産 ★：核となるもの〔指定・登録〕 ☆：調査で価値を明らかにするもの
	テーマ	ストーリー（要点）	
(主として) 街	8 城下町の史跡と文化	城下町に関わる史跡や建造物、民俗文化などを総体として保存・活用するべき関連文化財群である。	※下記の5つの狭義の関連文化財群における歴史文化遺産
	8-1 城下町史跡群	近世城下町遺跡内（全域が周知の遺跡）にあって、確認された遺構等を一体として保存・活用するべき関連文化財群である。	★亀井家墓所〔国史跡〕 ★永明寺〔県有形文化財〕 ★藩校養老館〔県史跡〕 ★鷲原八幡宮流鏑馬馬場〔県史跡〕 ★弥栄神社〔町史跡〕 ☆津和野神社 ☆高崎亀井家跡 ☆津和野藩邸瓦窯跡 など
	8-2 小京都文化の伝統行事	小京都文化のひとつである祇園祭は津和野の特長であり、それらを一体として保存・活用するべき関連文化財群である。	★津和野弥栄神社の鷺舞〔国重要無形民俗文化財〕 ★津和野城跡〔国史跡〕（物見櫓） ★多胡家表門〔県有形文化財〕 ★弥栄神社〔町史跡〕 ★子鷺踊り〔町無形民俗文化財〕 ☆お旅所 ・祇園祭縁起など関連資料 ・御神幸ルート ・輪くぐり神事 など
	8-3 維新の中のキリスト教の歴史と文化	小さな町である津和野においてキリスト教移封や教会建設などの歴史もあり、そうした歴史文化遺産を一体として保存・活用するべき関連文化財群である。	★カトリック教会〔国登録有形文化財〕 ☆乙女峠とマリア聖堂 ☆千人塚 ・キリストン灯籠　・巡礼の道 ・キリストン関係資料 など
	8-4 花まつりと仏教文化	お釈迦様の誕生日を祝う宗派を超えた仏教文化を保存・活用するべき関連文化財群である。	★永明寺〔県有形文化財〕 ・常光寺（浄土真宗） ・光明寺（浄土宗） ・花まつりルート など
	8-5 城下町の水文化	周囲を山に囲まれた街には水路が張り巡らされ、周囲の農村部とは異なる小京都としての独特的な文化が育まれた。それらを一体として保存・活用するべき関連文化財群である。	★津和野城跡〔国史跡〕藩邸庭園跡 ★亀井氏庭園・田中氏庭園ほか商業庭園〔国登録記念物〕 ☆永明寺庭園 ・汲み地（各所）　・取水口 ・鯉、花菖蒲 ・煎茶文化　・酒造りと井戸 ・和菓子作り　・石州和紙の製造 ・水田　・雲海 など



鷲原八幡宮流鏑馬馬場（県史跡）



弥栄神社の鷺舞（国重要無形民俗文化財）



カトリック教会（国登録有形文化財）



永明寺（県有形文化財）



亀井氏庭園（国登録記念物）

表 2-5 関連文化財群の設定

(4／4)

関連性の視点 (切り口) ～設定の考え方～	関連文化財群の内容（概要）		主な歴史文化遺産 ★：核となるもの【指定・登録】 ☆：調査で価値を明らかにするもの
	関連文化財群 名称（テーマ）	ストーリー（要点）	
野・山・街	9 建造物が語る歴史と文化	津和野の歴史文化を伝える町家や民家などを再認識し、守り、生かすべき関連文化財群である。	★津和野城跡【国史跡】馬場先櫓・物見櫓 ★多胡家表門【県有形文化財】 ★財間家住宅、河田商店、橋本酒造場、下森酒造場、藤井家住宅など【国登録有形文化財】 ★竹原家住宅【町有形文化財】 ★鷺原八幡宮【国重文】 ★三渡八幡宮など【県有形文化財】 ★津和野町郷土館など【国登録有形文化財】 ・石見瓦・座頭さぐり・錆絵 ☆石垣（城跡、館跡、石段、棚田など…一部指定あり）など
	10 先史時代から連綿と続く津和野の歴史と文化	先史時代から現代まで、歴史文化遺産を通じて、時間軸を意識しながら、津和野の歴史文化と歩み、そして、特色・魅力を体験できるようにするべき関連文化財群である。	★木蘭遺跡【町史跡】（中世） ☆津和野城下町遺跡（近世） ☆高田遺跡（縄文後期～中世） ☆喜時雨遺跡（中世） ☆大蔭遺跡（縄文後期～弥生） ・大婦け遺跡（奈良・平安） ・山崎遺跡（縄文草期） ・その他遺跡と出土遺物など



津和野城跡（国史跡）物見櫓



多胡家表門（県有形文化財）



橋本酒造場（国登録有形文化財）



津和野町郷土館（国登録有形文化財）



左鎧八幡宮の社叢（町天然記念物）



竹原家住宅（町有形文化財）



大蔭遺跡（縄文時代の住居跡）



大婦け遺跡（奈良・平安時代）



津和野城下町遺跡（江戸時代）

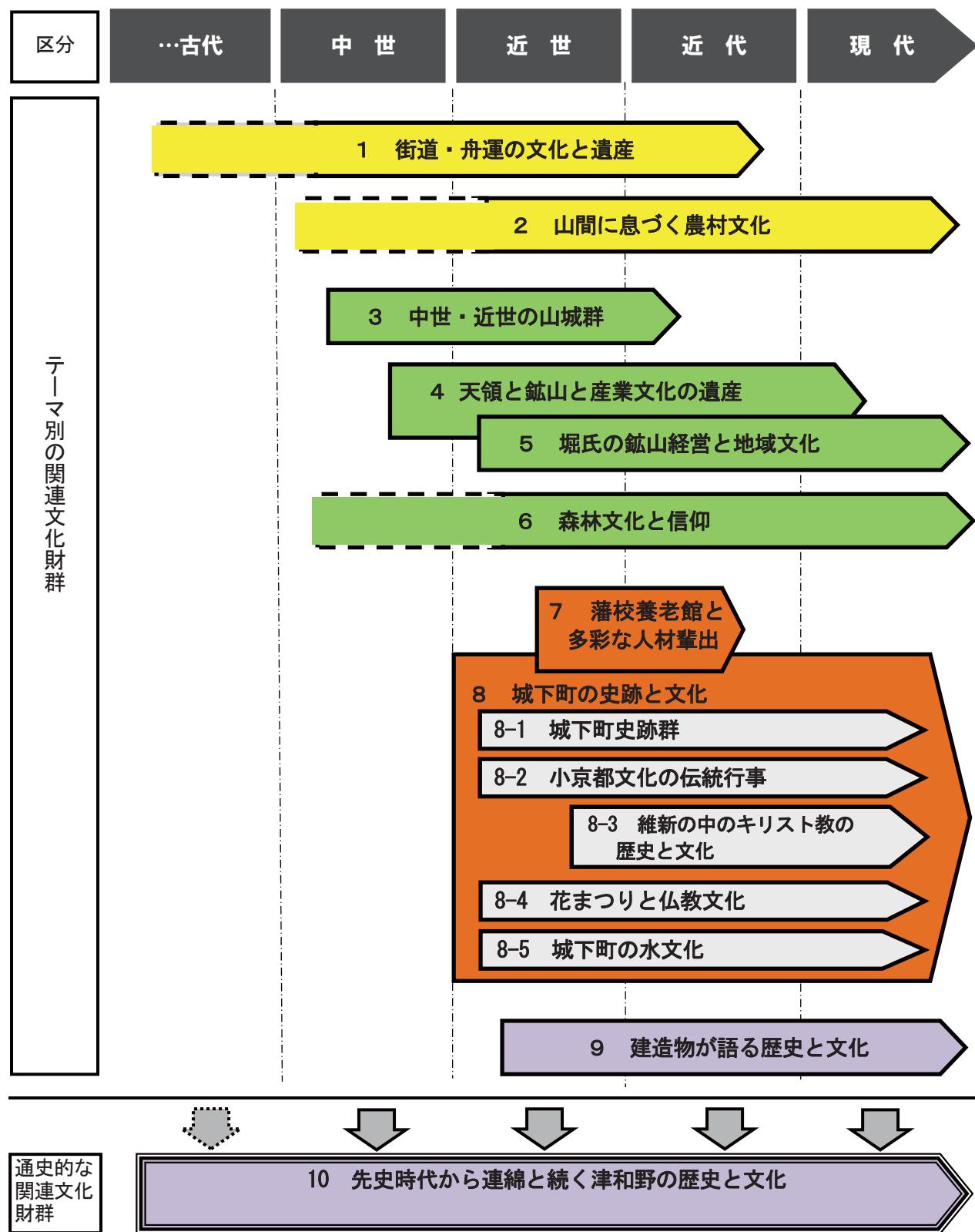


図 2-7 関連文化財群の時代と通史的な関連文化財群の設定



図 2-8 関連文化財群 1 「街道・舟運の文化と遺産」における主な歴史文化遺産

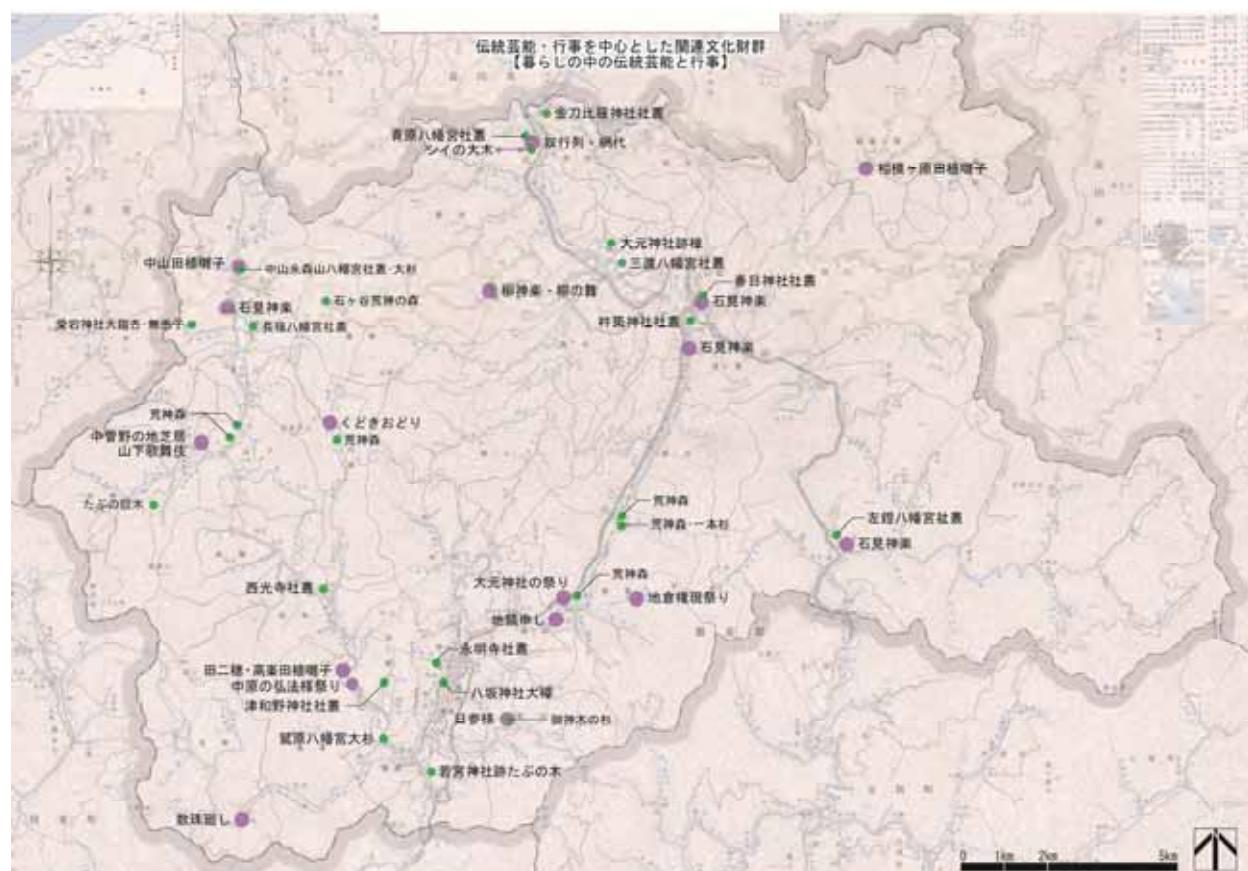


図 2-9 関連文化財群 2 「山間に息づく農村文化」における主な歴史文化遺産

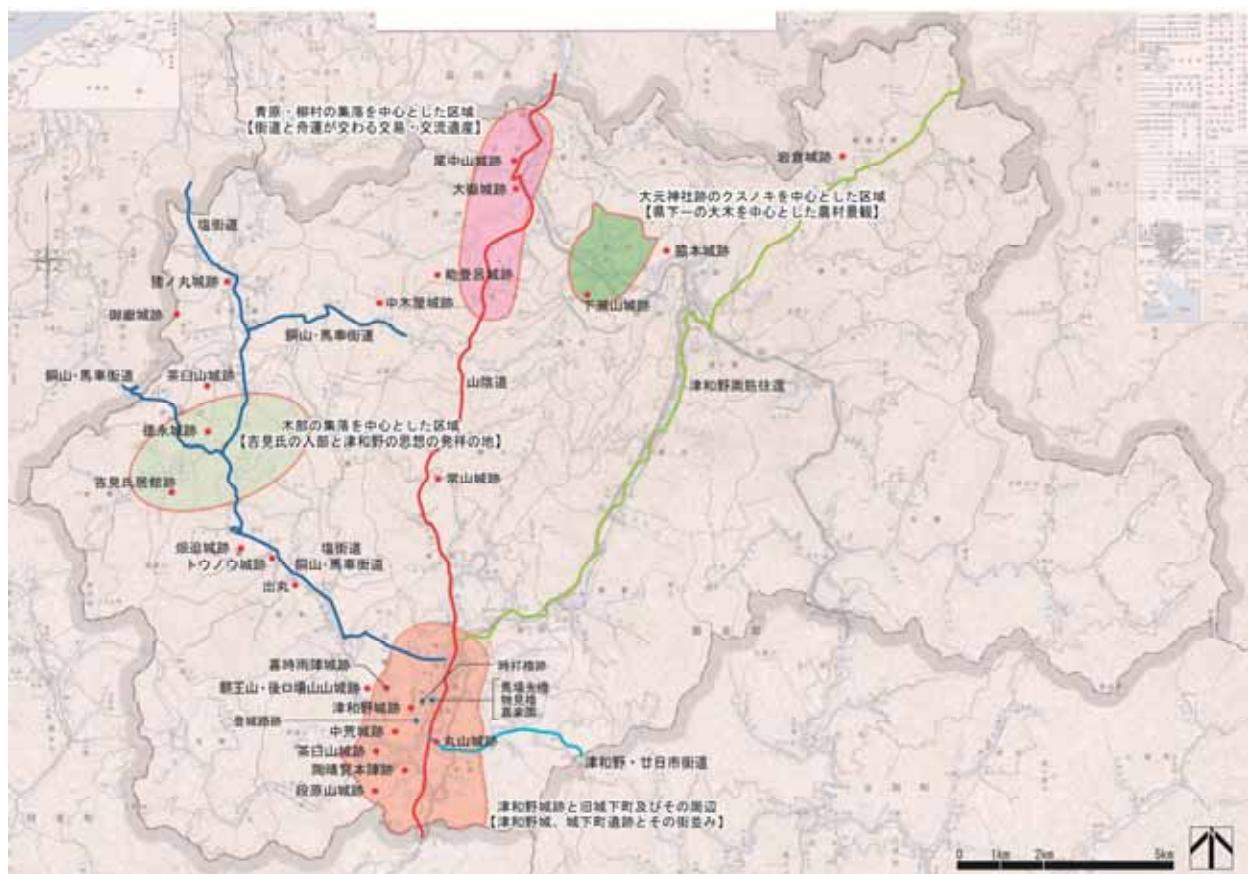


図 2-10 関連文化財群3「中世・近世の山城群」における主な歴史文化遺産

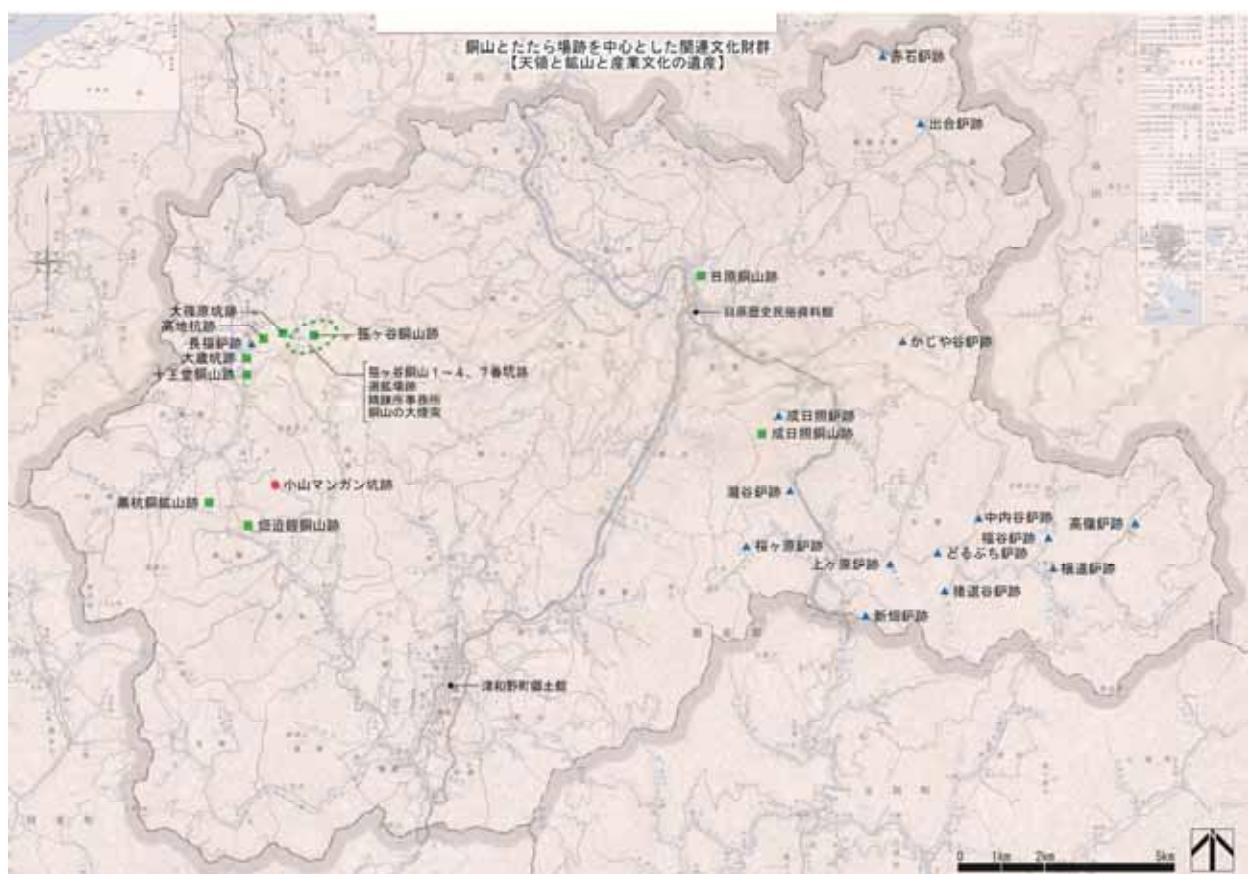


図 2-11 関連文化財群4「天領と錫山と産業文化遺産」における主な歴史文化遺産



図 2-12 関連文化財群 5 「堀氏の鉱山経営と地域文化」における主な歴史文化遺産

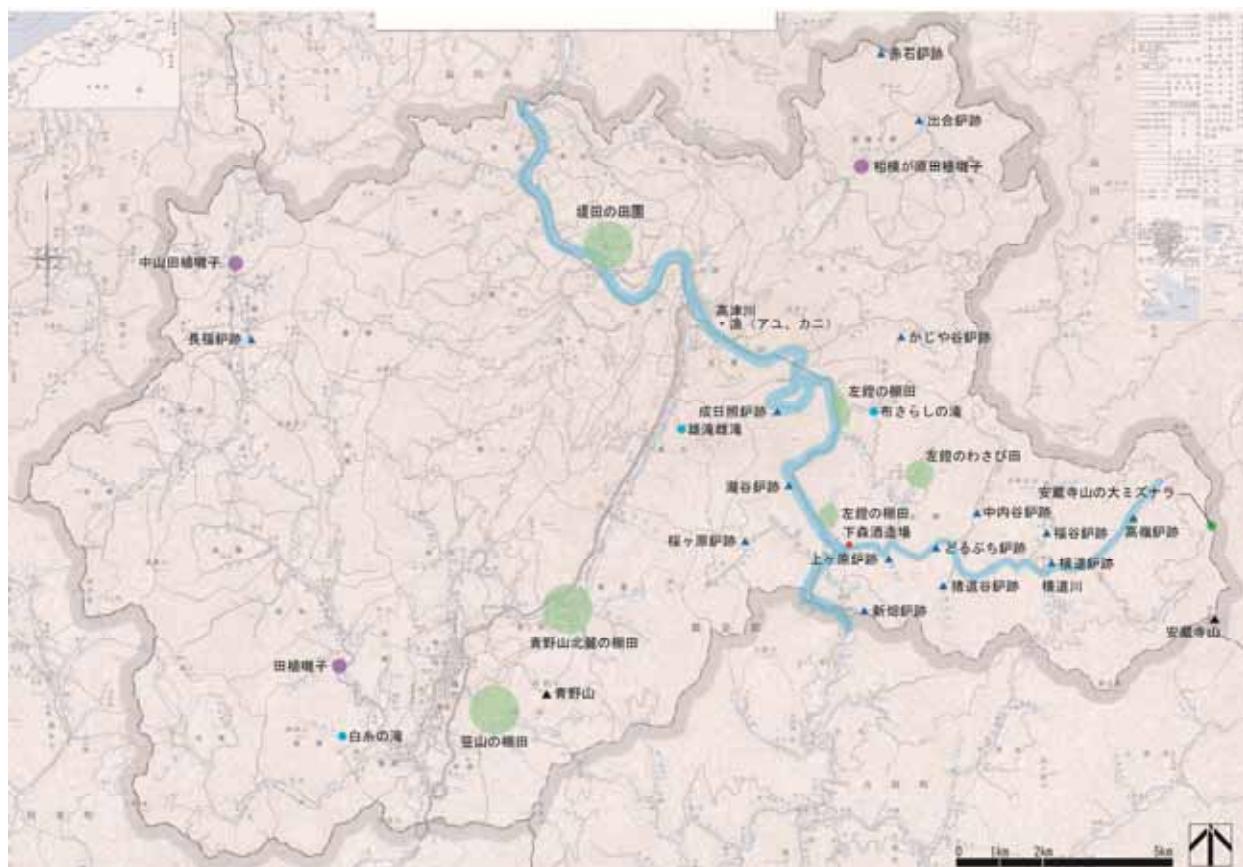


図 2-13 関連文化財群 6 「森林文化と信仰」における主な歴史文化遺産



図 2-14 関連文化財群 7 「藩校養老館と多彩な人材輩出」における主な歴史文化遺産



亀井茲監公頌徳碑（嘉楽園）



大国隆正の碑（嘉楽園）



堀田仁助の墓



木部組代官屋敷跡と福羽美静生誕地碑



福羽美静の碑（嘉楽園）



山辺丈夫の碑（嘉楽園）

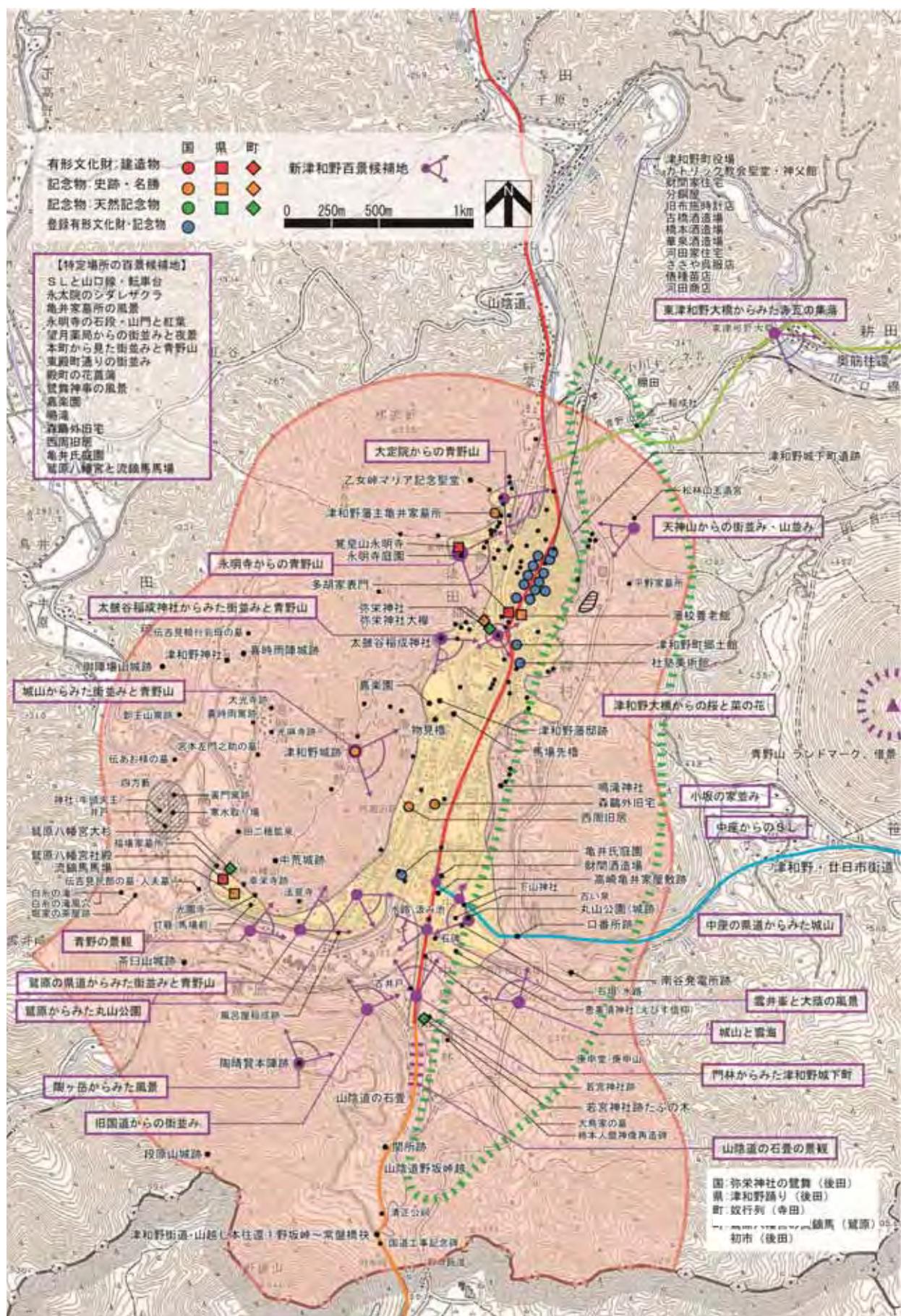


図 2-15 関連文化財群8「城下町の史跡と文化」における主な歴史文化遺産



図 2-16 関連文化財群8「城下町の史跡と文化」における中心部の主な歴史文化遺産

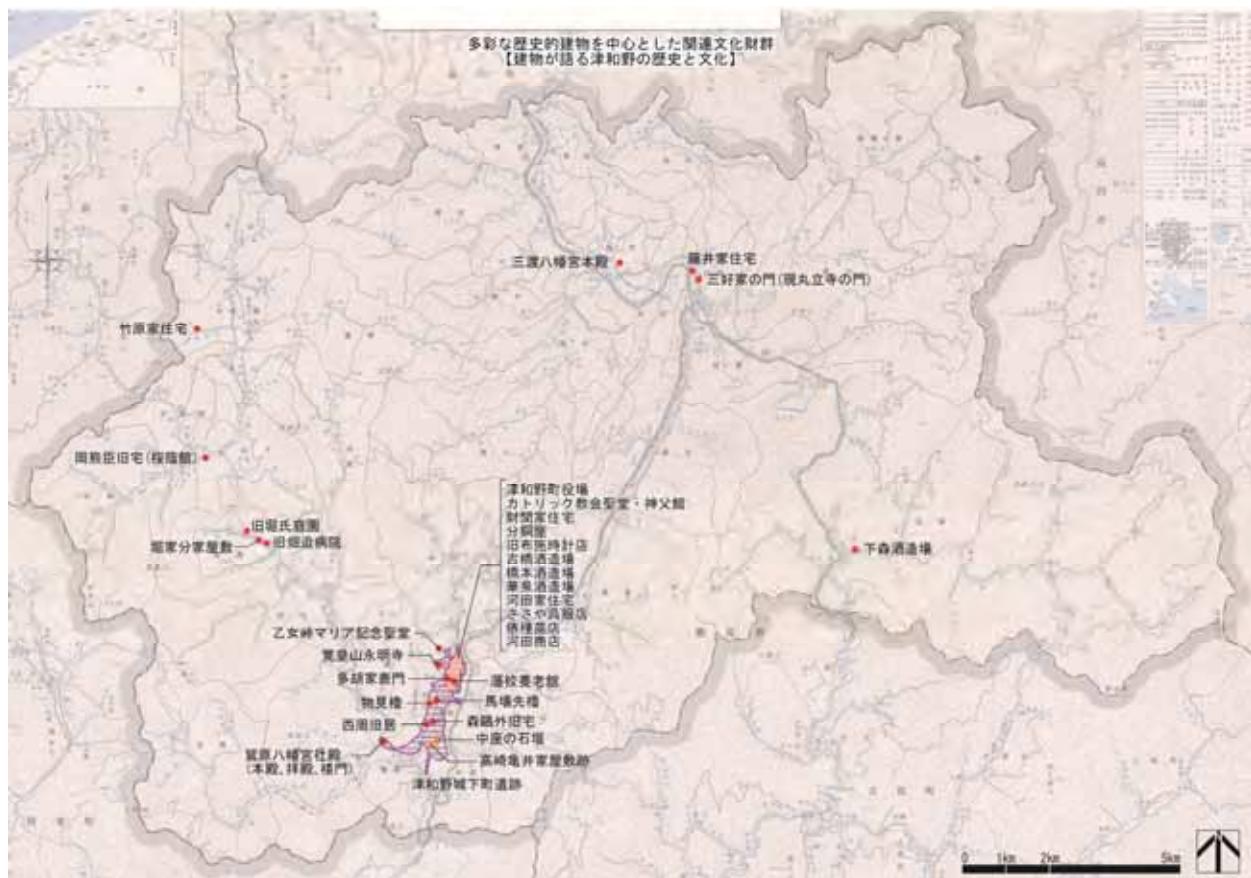


図 2-17 関連文化財群9「建造物が語る歴史と文化」における主な歴史文化遺産



図 2-18 関連文化財群 10 「先史時代から連綿と続く津和野の歴史と文化」における主な歴史文化遺産

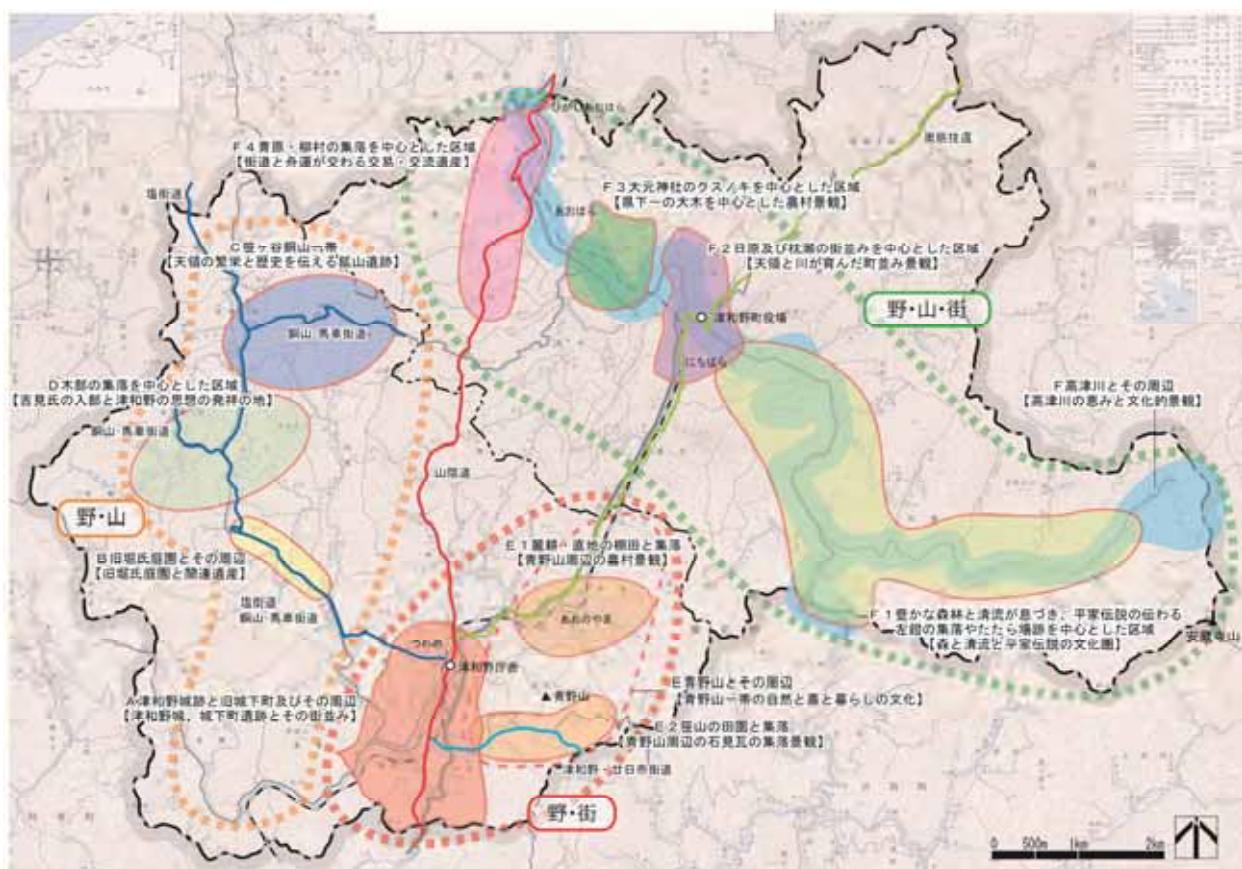
2 歴史文化保存活用区域

津和野町の「歴史文化遺産」のうち、一体として保護の対象とすべき歴史文化遺産の分布及び周辺環境の展開状況等を考慮し、6つ（小区分を含めると12）の歴史文化保存活用区域を設定した。

これらのうち、青野山に関しては「E 青野山とその周辺【青野山一帯の自然と農と暮らしの文化】」が2つの区域（E-1、E-2）を包含し、高津川に関しては「F 高津川とその周辺【高津川の恵みと文化的景観】」が4つの区域（F-1～F-4）をつなぐものである。

また、「A 津和野城跡と旧城下町及びその周辺【津和野城、旧城下町とその街並み】」は、関連文化財群8「城下町の史跡と文化」及び『津和野町歴史的風致維持向上計画』の重点区域と重なる。

①区域名、②区域設定の根拠、③区域設定の意義・役割、④対象となる主要な関連文化財群、⑤包含される主な歴史文化遺産については、表2-6に示すとおりである。



※「A 津和野城跡と旧城下町及びその周辺【津和野城、旧城下町とその街並み】」は、関連文化財群8「城下町の史跡と文化」及び『津和野町歴史的風致維持向上計画』の重点区域と重なる。

図2-19 津和野町における歴史文化保存活用区域

表2-6 歴史文化保存活用区域の設定

(1／3)

区域 名称（テーマ）	区域設定の根拠	区域設定の意義・役割	主要な 関連文化財群 (表2-5に対応)	主な歴史文化遺産 ★:核となるもの[指定・登録] ☆:調査で価値を明らかに するもの
A 津和野城跡と 旧城下町及びその周辺 (小京都文化を取り上げる区域) 【津和野城、旧城下町とその街並み】 ※上記の区域は、 関連文化財群8 「城下町の史跡と文化」及び 『津和野町歴史的風致維持向上計画』の重点区域と重なる。	○津和野城跡と旧城下町及びその周辺の一体的な区域 ○路地や水路など、暮らしの空間文化を通じた区域	全国に数例しかない近世山城である津和野城跡、山麓の居館跡や櫓、城下町の面影を伝える街並み、そして関連史跡群を中心に、周辺環境を含めて一体的に保存・活用していく。 また、小京都文化が色濃く残る区域において、それを継承し活用する。	7 藩校養老館と多彩な人材輩出 8 城下町の史跡と文化 9 建造物が語る歴史と文化	★津和野城跡〔国史跡〕 ★藩校養老館〔県史跡〕 ★多胡家表門〔県有形文化財〕 ★鷺原八幡宮〔国重文〕 ★永明寺〔県有形文化財〕 ★弥栄神社〔町史跡〕 ★旧鹿足郡役所〔国登録有形文化財〕 ★津和野カトリック教会〔国登録有形文化財〕 ★津和野踊り〔県無形民俗文化財〕 ★流鏑馬神事〔町無形民俗文化財〕 ★山陰道（野坂峠越）〔国史跡〕 ★亀井氏庭園〔国登録記念物〕 ☆S L転車台 ☆高崎亀井家跡 ☆商家 ☆乙女峠と乙女峠まつり ・水路（取り水口）と水文化 ・煎茶文化 ・輪くぐり神事（着物文化） ・庭の文化・石州和紙の文化 ・石見瓦と建築様式 ・和菓子文化・伝統的食文化 ・大蔭遺跡（縄文） ・高田遺跡（縄文～中世） ・喜時雨遺跡（中世）
B 旧堀氏庭園とその周辺 【旧堀氏庭園と関連遺産】	○旧堀氏庭園を中心とした区域	津和野の経済的基盤と産業文化を今に伝える旧堀氏庭園と関連遺産を、周辺環境を含めて一体的に保存・活用していく。	5 堀氏の鉱山経営と地域文化 9 建造物が語る歴史と文化	★旧堀氏庭園〔国名勝〕（主屋、枯山水庭園、楽山荘、和楽園、旧畠迫病院、畠ヶ迫銀銅山等） ☆堀家墓所 ☆旧川園 ・顧彰碑 ・城ノ腰、外輪、出丸 ・西光寺・ホタルなど
C 笹ヶ谷鉱山一帯 【天領の繁栄と歴史を伝える鉱山遺跡】	○笹ヶ谷鉱山を中心とした区域	中世から採掘され、江戸時代には天領として、地域経済や幕府の財政を支えた鉱山や関連遺構などを、一体的に保存・活用していく。	4 天領と鉱山の産業文化の遺産	☆笹ヶ谷鉱山跡（坑道、製鍊所跡等） ・中木屋城跡 ・十王堂銅山跡 ・天領庄屋跡など
D 木部の集落を中心とした区域 【吉見氏の入部と津和野の思想の発祥の地】	○津和野における築城と思想の始まりを知ることのできる区域	吉見氏が津和野に入った最初の拠点であり、その関連遺跡群や津和野における神道の発祥の地である地域を、一体的に保存・活用していく。	3 中世・近世の山城群 7 藩校養老館と多彩な人材の輩出	★岡熊臣旧宅〔町史跡〕 ★木蘭遺跡〔町史跡〕（吉見氏居館跡及び関連遺跡群） ★竹原家住宅〔町有形文化財〕 ☆福羽美静生誕地 ☆御嶽城跡、徳永城跡 ☆富長山八幡宮 ・銅山の馬車道・塩の道など

表2-6 歴史文化保存活用区域の設定

(2／3)

区域 名称(テーマ)	区域設定の根拠	区域設定の意義・役割	主要な 関連文化財群 (表2-5に対応)	主な歴史文化遺産
E 1 麓耕・直地の棚田と集落 【青野山周辺の農村景観】	○青野山と一緒にとなった文化的景観による区域の検討 ○棚田を中心とした文化的景観と暮らしの文化を通じた区域	青野山の溶岩の上に形成された棚田や石州瓦の集落、暮らしの文化や自然、そして青野山を借景とする特徴的な景観を、一体的に保存・活用していく。	2 山間に息づく農村文化 6 森林文化と信仰	★棚田景観と集落(麓耕・直地区:赤瓦、農村集落) ・津和野川 ・清水(湧水) ・麓耕村五神社 ・地倉沼(モリアオガエル) ・地倉権現祭 ・風穴(蚕養蚕) ・噴火跡(麓耕崩れ)
E 2 笹山の田園と集落 【青野山周辺の石見瓦の集落景観】	○青野山と一緒にとなった文化的景観による区域の検討 ○田園と暮らしの文化を通じた区域	青野山の麓に形成された田園と石州瓦の集落、暮らしの文化や自然、そして青野山と一緒にとなつた特徴的な景観を、保存・活用していく。	2 山間に息づく農村文化 6 森林文化と信仰	☆田園景観と集落(笠山地区:赤瓦、農村集落) ・廿日市街道(参勤交代) ・風穴(養蚕) ・日参様 ・笠山水源地(湧水) ・南谷発電所跡など
E 青野山との周辺 【青野山一帯の自然と農と暮らしの文化】	○青野山を中心とした一体の区域	上記の2つの区域と青野山を、一体的に保存・活用していく。	(同上)	(同上) ★青野山〔国天然記念物及び名勝〕 ・山王権現など



青野山と麓耕の集落と津和野川



青野山と笠山の集落

表 2-6 歴史文化保存活用区域の設定

(3 / 3)

区域 名称 (テーマ)	区域設定の根拠	区域設定の意義・役割	主要な 関連文化財群 (表 2-5に対応)	主な歴史文化遺産
F1 豊かな森林と清流が息づき、平家伝説の伝わる左鎧の集落やたら場跡を中心とした区域 【森と清流と平家伝説の文化圈】	○高津川や源流域(横道川)の自然と暮らしに関わる文化圏	豊かな自然とともに暮らしてきた人々の足跡と文化を、森や清流や伝説などと一体となつた圏域として保存・活用していく。	6 森林文化と信仰	★瀧谷たら跡 [町史跡] ★下森酒造場 [国登録有形文化財] ★左鎧八幡宮社叢 [町天然記念物] ☆たら場 ・水力発電所跡 ・茶屋跡 ・神楽 ・ブナの原生林 ・ホタルなど
F2 日原及び枕瀬の街並みを中心とした区域 【天領と川が育んだ街並み景観】	○日原の街並み等の再評価と一体的な区域	かつて鉱山で賑わい、天領であった地域の歴史文化、そして高津川と緑にとけ込む石州瓦の街並みを、周辺環境を含めて一体的に保存・活用していく。	1 街道・舟運の文化と遺産 4 天領と鉱山の産業文化の遺産	★藤井家住宅 [国登録有形文化財] ★枕瀬代官所跡 [町史跡] ★日原奴道中 [町無形民俗文化財] ☆水津家住宅ほか ☆歴史民俗資料館 (資料等) ・赤瓦の街並み (日原天文台からの景観など) ☆高津川と周辺の文化的景観 ☆日原鉄山跡 など
F3 大元神社跡のクスノキを中心とした区域 【県下一の大木を中心とした農村景観】	○天然記念物やそれを取り巻く文化的景観による区域	大元神社跡のクスノキをシンボルとした農村景観を守るとともに、それと一体的に存在する歴史文化遺産を保存・活用していく。	2 山間に息づく農村文化	★大元神社の樟 [県天然記念物] ★三渡八幡宮 [県有形文化財] ★三渡八幡宮社叢 [町天然記念物] ★下瀬山城跡 [町史跡] ★社地脇古墳 [町史跡] ・集落 (田園) ・歯の地蔵様、耳の地蔵様 ・薬師堂 (目の神様) ・カブトエビ など
F4 青原・柳村の集落を中心とした区域 【街道と舟運が交わる交易・交流遺産】	○街道と舟運の結節点における歴史的な区域	山陰道と高津川の舟運の結節点として、交易・交流で栄えた歴史文化と集落を、周辺環境を含めて一体的に保存・活用していく。	1 街道・舟運の文化と遺産	★青原八幡宮社叢 [町天然記念物] ★青原代官所跡 [町史跡] ★山陰道 (徳城峠越) [国史跡] ・渡し跡 ★柳神楽 [県無形民俗文化財] ★柳神楽の面と衣装 [県有形民俗文化財] ★青原奴道中 [町無形民俗文化財] ☆網代 ☆原田家 (たら) 墓所 ・尾中山城跡、大嶽城跡 など
F 高津川とその周辺 【高津川の恵みと文化的景観】	○河川 (高津川)と景観・生活文化をつなぐ区域	日本一の清流である高津川とその恵みである生業や暮らしの文化、そして景観を、川を軸として一体的に保存・活用していく。また、上流の吉賀町、下流の益田市と連携した取組を進める。	(同上)	★高津川の文化的景観 安蔵寺山のミズナラ・ブナ林、雄滝、雌滝、たら跡、棚田、ワサビ田、漁 (アユ、カニ、ウナギ)、溪流魚 (ゴギ、ヤマメ) 平家伝説、厳島神社、水力発電所跡など



高津川



横道川

※ 歴史文化保存活用区域A「津和野城跡と旧城下町及びその周辺」における主な歴史文化遺産は図2-15・16を参照

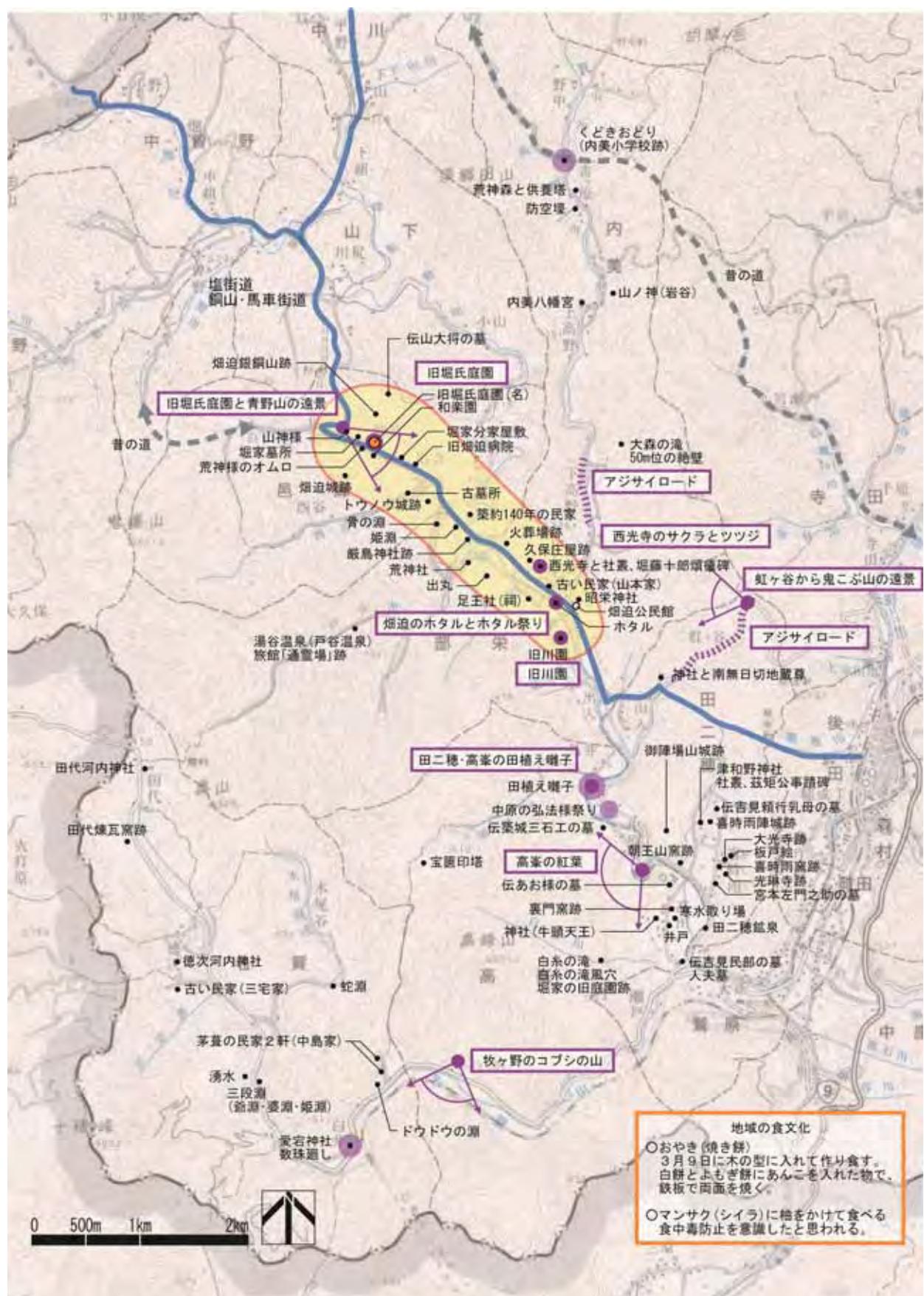


図 2-20 歴史文化保存活用区域B「旧堀氏庭園と関連遺産」及び周辺における主な歴史文化遺産

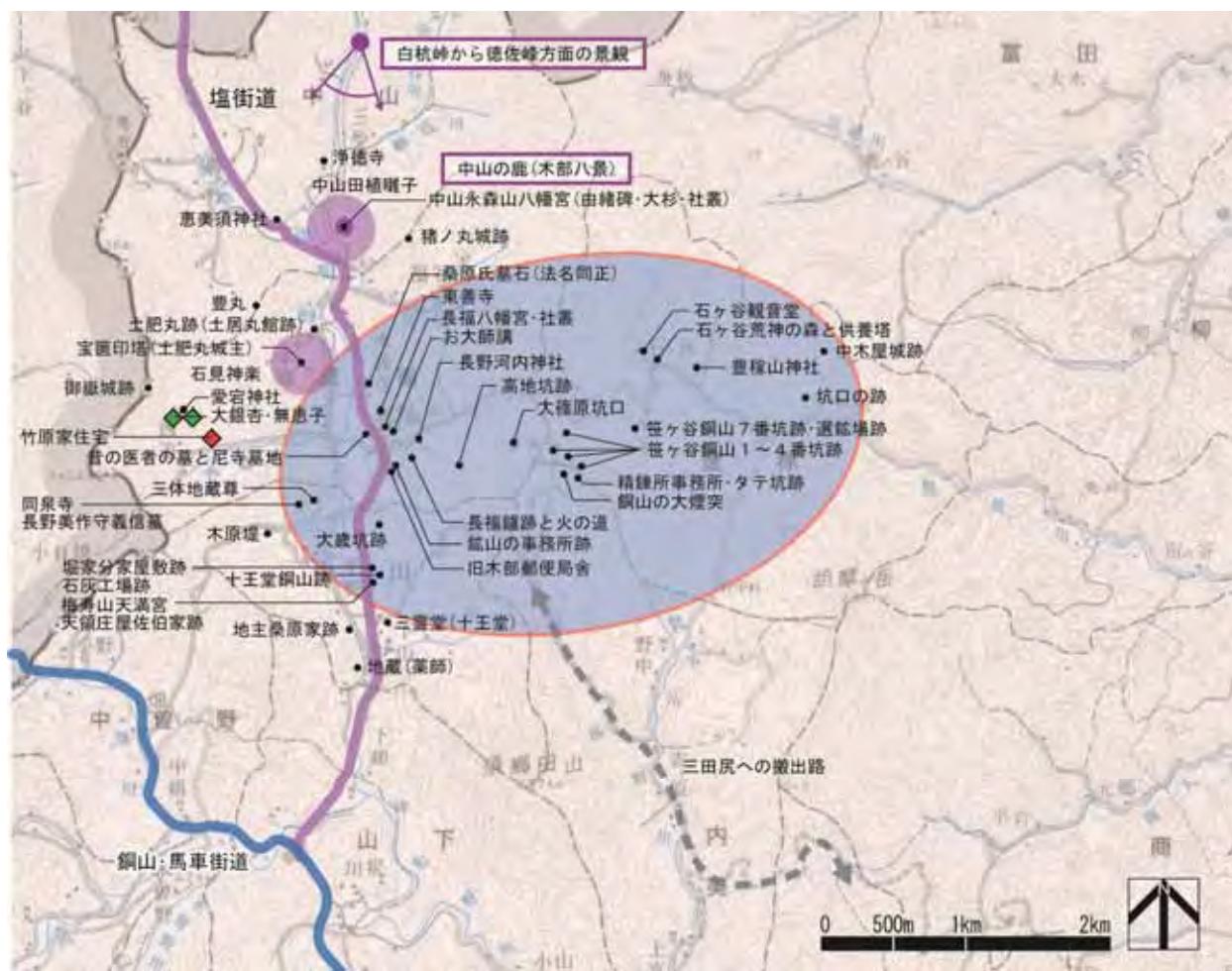


図 2-21 歴史文化保存活用区域C「天領の繁栄と歴史を伝える鉱山遺跡」
及び周辺における主な歴史文化遺産



図 2-22 歴史文化保存活用区域D「吉見氏の入部と津和野の思想の発祥の地」
及び周辺における主な歴史文化遺産

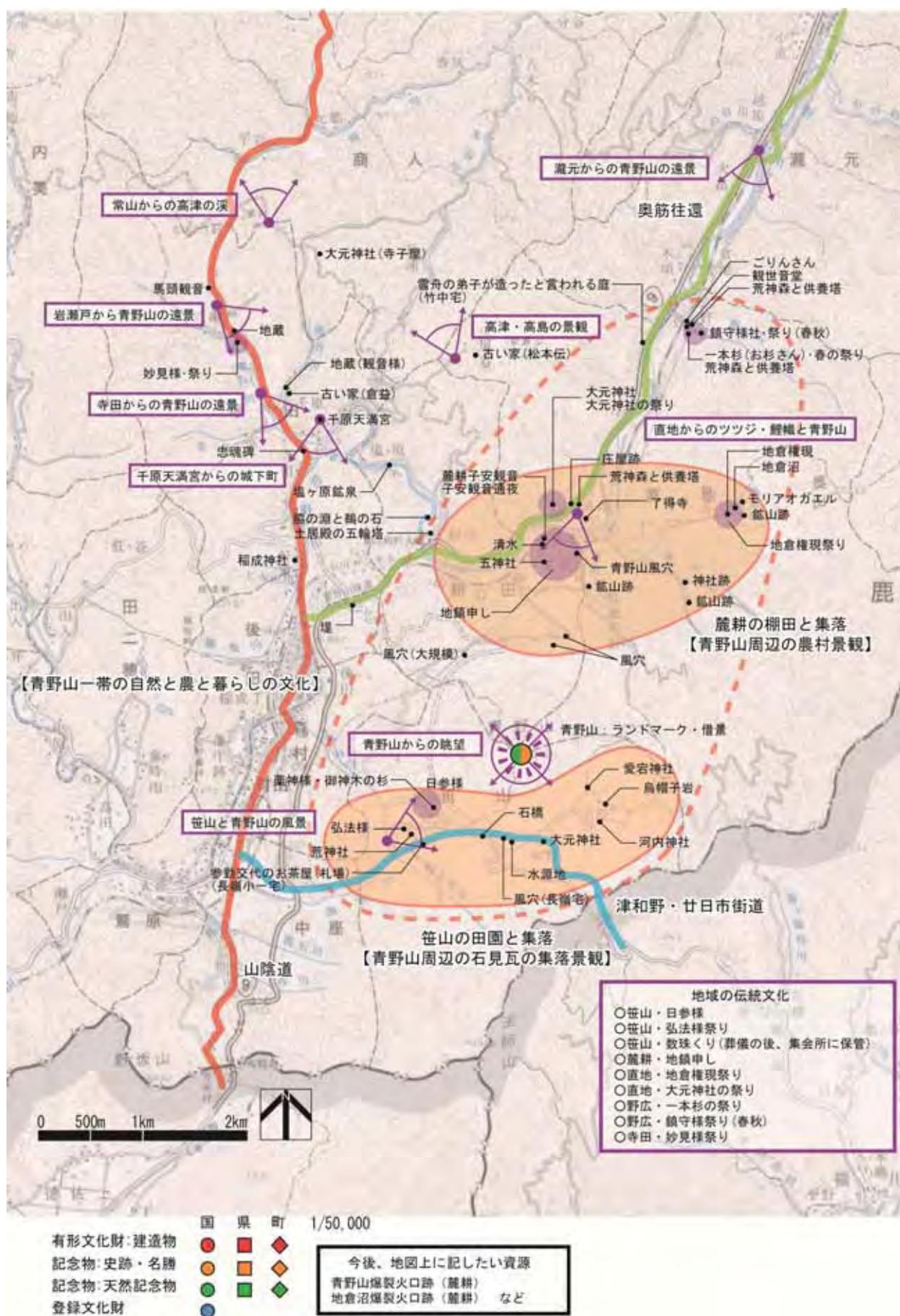


図 2-23 歴史文化保存活用区域 E 「青野山一帯の自然と農と暮らしの文化」
及び周辺における主な歴史文化遺産

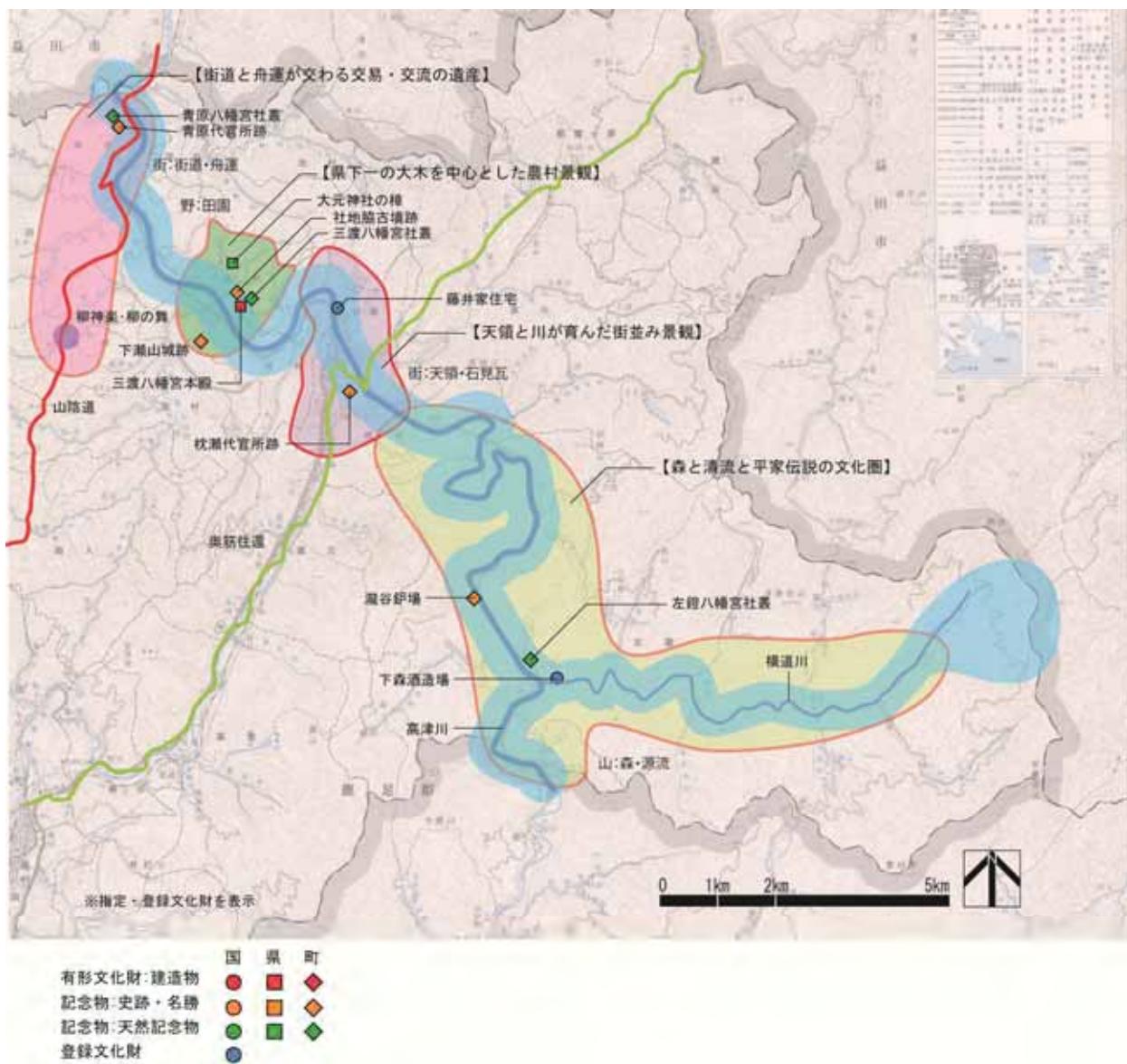


図 2-24 歴史文化保存活用区域 F 「高津川の恵みと文化的景観」の構成

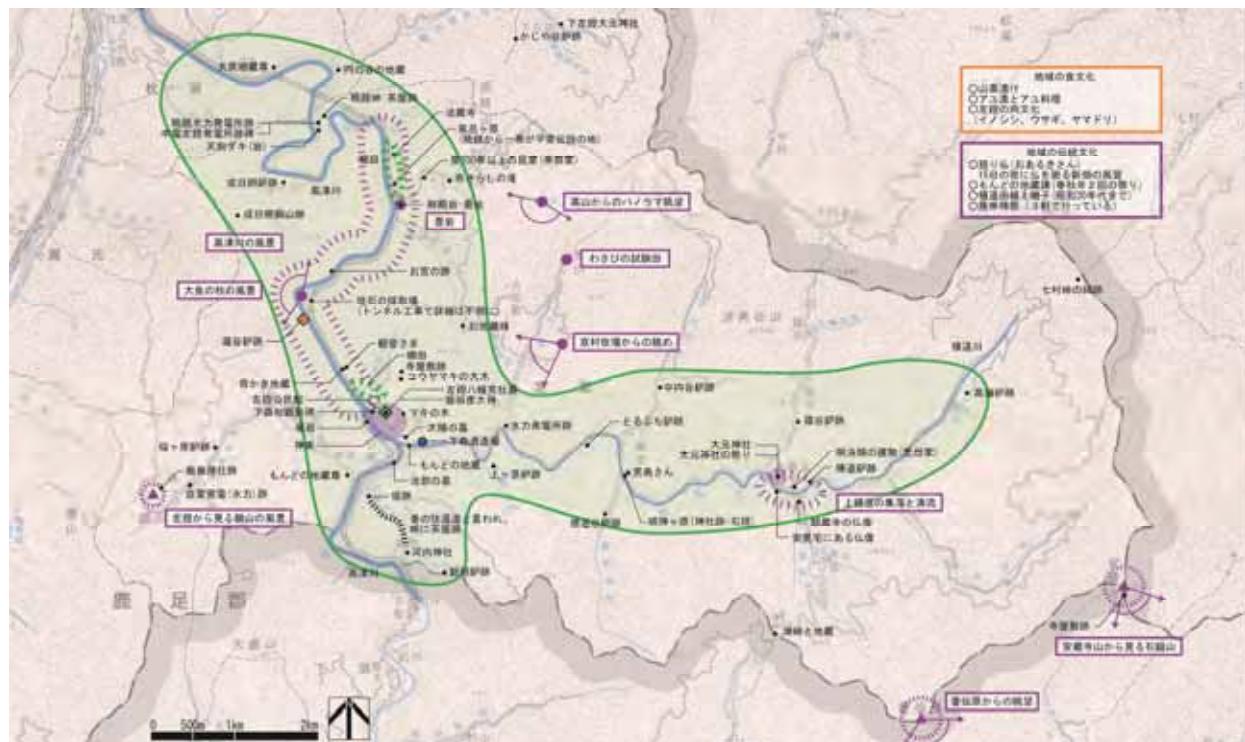


図 2-25 歴史文化保存活用区域 F 1 「森と清流と平家伝説の文化圏」
及び周辺における主な歴史文化遺産

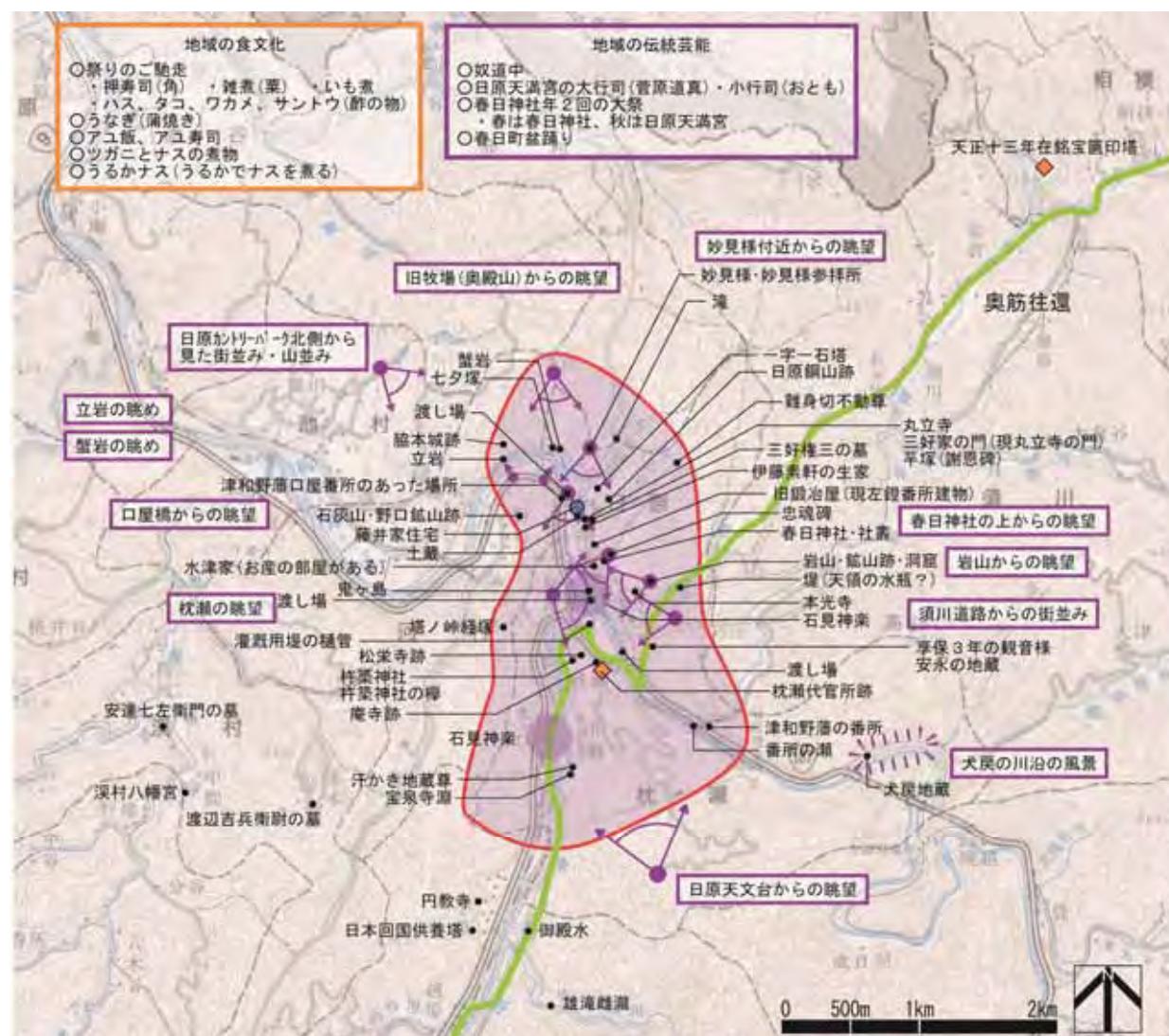


図 2-26 歴史文化保存活用区域 F 2 「天領と川が育んだ街並み景観」
及び周辺における主な歴史文化遺産



図 2-27 歴史文化保存活用区域 F3 「県下一の大木を中心とした農村景観」
及び周辺における主な歴史文化遺産



図 2-28 歴史文化保存活用区域 F4 「街道と舟運が交わる交易・交流遺産」
及び周辺における主な歴史文化遺産